



七月三十日、なぎさでの最後の夜。七時から八時半まで勤労者体育館でレクリエーションがありました。レクリエーションの内容は笛を吹いた数だけ集まるゲーム、じゃんけんゲーム、新聞紙を破ってどれだけ長くするか、というゲーム新聞紙で作ったしっぽ取りゲームなど様々なものがありました。ちなみに、じゃんけんゲームで優勝したのは、中二で『大工』楠本翼君。しっぽ取りで優勝したのは中一で『写真』の瀬戸一也君です。おめでと!!

私は、ゲームをしていた内の何人かに話を聞いてみました。

まず、中一で『写真』の上野かおるちゃんにインタビューすると、『紙切りが一番おもしろい。やっぱり性格がでるのかな』と言っていました。

次に、小六で『リトル』の森田奈都樹

ちゃんは、『めちゃくちゃ楽しい!! 特別司会者の人がテレビにでてる人みたいで。』と云うことでした。

レクリエーションは全体的に好評だった様です。でも、『暑かった』『ズルした人がいた』と言っていた人もいました。(私もそう思った...) それから、『ゲームとかもすれば良かった。』と云っている人もいました。



# 7月31日号

ディリーなぎさ Vol.32  
編集:ディリーなぎさ編集部  
発行:なぎさの伝習所実行委員会

## 『なぎさ』最後の夜、みんなで楽しんだレクリエーション

さて、西村さんの演奏で歌った歌... 最初の方は声が出ていましたが、後の方はだんだん小さくなっていった様に聞こえたのは私だけでしょうか? ..

さて、『なぎさ』最後の夜... みんな、どんな夢を見たのでしょうか...!!?

(あかね)

### お見事!! 牛乳パック・新聞紙がイスや帽子に!



品牛乳パックでつくったイスや帽子がいたるところに展示してありました。

そのイスは、それはそれは見事なもので、六角形の形をしていた珍しいイスでした。牛乳パック四十八枚を使い加工し、その上に友禅和紙をはったものでまだ未完成のもの。ニス塗れば完成するそうです。友禅和紙の人たちは、楽しく真剣な表情で取り組んでいました。そんな雰囲気伝わってききました。感想を聞いてみると、『むずかしい音をつくる』

#### 紙和禅友

二十九日午前中 鹿町町ふれあいの家に、友禅和紙を使ってリサイクル作品をつくる』の取材にいきました。

昨日からみんなでがんばってつくった二つの作

#### 音をつくる

旅の音楽家 丸山祐一郎

今年も、また、なぎさの伝習所の季節がやってきた...。今年2回目の僕は、年間二〇〇ステージ、いこいのひとときである。あいにくの雨、雨でもまた雨も楽しい...。去年は、水カリンバというジュースの空き缶の楽器、植木鉢の太鼓を作った。今年は、一万五千年前の一番古い弦楽器ピリンバウ、そしてなぎさということで、鹿町の海岸の貝を入れ、波の音作り...。さてどうなることか? 鹿町の文化会館に来ると、なつかしい一年ぶりの人たち、みな笑顔、コンニチワ、コンニチワ、...。今年の音作りは六名、シヨウ太君、カリンちゃん、カヨちゃん、カオリちゃん、古賀君、陣君、みな、元気、一日かけ、ひょうたんを切り、ヤスリをかけ、焼きゴテで穴をあけ、ピリンバウ作り、手を切ったり、まめをつくったり、でも楽しい、楽しい。やっと完成、ビーン、ビーン。いい音だネツ。goodだヨツ...。二

いや、楽しかったなどがありました。帽子は、壁にかけられるようにひもが付けてありました。ぼつしの中にはポプリが入れてありました。ポプリはともいいかおりました。

その時、作っていたまきびなは新聞紙で作ってありました。みんなだいたいうまくできていたようでした。

ワークシヨップ担当の横尾さんは、『自分の好きなことをみつめて、それを続けることが大切』だとおっしゃっていました。

(まなみ)



日貝、波音作り、みかん箱を小さくし和紙を貼り、雨の中、ビシビシビシヨになり貝集め、自分だけの波完成。ザーツ...。海だネツ...。素敵だネツ...。そして、三日目、老人ホーム慰問の日、朝九時から一時間みっちり練習...。グントオツパ...。タンティティ...。アフリカの星をみて、ゾウ達は育った...。私達、僕達なぎさ合奏団です。今年もまた来れました。ヨロシクお願いします...。そして演奏が始まった。去年も、いたおばあちゃん、また今年も泣いた...。子供達は、波になり、ブラジルの人になり、そしてメッセージ...。二〇〇〇年心の時代、物から心へ、心の川を流そう、元気よく、この言葉を言い、今年の演奏は終わった...。この鹿町から全国に向け...。飛んでいけッ! 心の川!!...。おばあちゃん、また来年来るネツ...。ずーっと長生きしてネツ...。

カメラのレンズからみた風景

小野貴光

雨が降る中、僕たちは写真を撮るために散策していました。雨が強く降ってきたので、先生は車を取りに行きました。僕たちはその間、漁師のおばさんに頼んで雨宿りをさせてもらいまし



鹿町の全ぼうを写しました。午後には、小佐々の海へ行き、変わった模様の岩を物に見立てて写しました。

翌日ネガを作り、三日目には写真を現像しました。季節の花や、鹿町の町並みや自然をイメージ通りに映し出すことが出来ました。

た。でも、先生の車が来たとき、僕たちはお礼も言わずに車に飛び乗ってしまいました。僕たちの第一日はこのようにして始まりました。

まず海岸へ行き、シーカヤックの人たちを撮りました。次に、長串山公園で

この活動した三日間でできあがった写真で見た人に鹿町の自然の美しさやすばらしさを伝えることが出来たらなあとは思っています。

ゴーストライター 瀬戸一也 完

なぎさで一句

今日のお題は

なぎさで一句

五日間 今年のなぎさは 雨だった

(友廣由美 中二 身近な遊び)

なぎさでは いい思い出が つくれたよ

(内山田ひとみ 中二 身近な遊び)

五日間 友達できて よかったよ

(山村あゆみ 小五 身近な遊び)

夏休み なぎさに行つて よかったな

(岩永 崇 小六 シーカヤック)

大工さん 友達できて うれしいな

(國松誠也 小四 大工修行)

なぎさ来て 友達いっぱい できました

(松坂理沙 中二 子供スタッフ)

なぎさはね みんなの心が 一つになるよ

(森田奈都樹 小六 リトルシェフ)

友達が たくさんできる なぎさだよ

(松田成美 小六 リトルシェフ)

なぎさはね とつとも楽しい 宝物

(永井綾夏 小六 リトルシェフ)

友達と 仲良くできて うれしいよ

(大田坊慶子 小四 お菓子を つくる)

楽しいな なぎさはいつも おもしろい

(石永真由美 小五 お菓子を つくる)

悲しいな なぎさの人と お別れだ

(溝上 愛 小四 お菓子を つくる)

以下は、前回のお題『友達』  
音づくり みんなと友達 友づくり  
(小西かりん 小四 音をつくる)

波の音 みんなですれば 皆笑顔  
(丸山祐一郎 音をつくるWS担当者)

五日間 みんなげんか ぐかいだな  
(古賀博人 小五 音をつくる)

音づくり 丸山先生 のつていた  
(中山佳世子 小五 音をつくる)

友達と 言つ名の宝 見つけだそう  
(中武朋美 中一 お菓子を つくる)

大切に 今日までの友 明日の友  
(本田未来 中一 お菓子を つくる)

友達は やさしい人だ うれしいな  
(町草由梨恵 小六 お菓子を つくる)

先生は いつもここに うれしいな  
(瀬戸智美 小四 お菓子を つくる)

友達は やさしくくれる 人ばかり  
(浜野静香 小五 お菓子を つくる)

友達と 料理をつくり うれしいな  
(大田坊慶子 小四 お菓子を つくる)

青空の 下の友達 いい感じ  
(牧尾貴之 小四 お菓子を つくる)

いろいろな 友達できて たのしいな  
(石永真由美 小五 お菓子を つくる)

友達は ひとりひとりの 宝物  
(田中梨奈 小六 お菓子を つくる)

友達は みんなやさしく いい人だ  
(溝上愛 小四 お菓子を つくる)

なぎさでは 友だちできた うれしいな  
(山本晃子 中二 リトルシェフ)

なぎさなら ふれあいたくさん あるんだよ  
(山崎沙織 小六 友禅和紙)

子猫をだいに育ててくれる人はいませんか？

シーカヤック担当の執行さんのお家で子猫が五匹産まれました。只今、もらい手を募集しています。

その猫は『なぎさ』の期間中に産まれたものです。お家でずっと可愛がってくださるといふ人は、ぜひ申し出てください。

全部で五匹いる子猫のプロフィールを紹介します。三匹は白い猫、一匹はアメリカンショートヘア風の猫。もう一匹はキジ猫だそうです。

まだ産まれたばかりなので、親ばなれがきたらお届けします。ほしい人は執行輝次さんのところ(TEL0956 65 3197)に連絡をください。(ゆみこ)

編集後記

限られた時間、限られたスタッフ、限られた紙面。不手際もいろいろありました。そのなかで、スタッフそれぞれがたいへんがんばったとおもいます。ディリーなぎさも一つのワークシヨップと考えるならば、この過程のなかで成長していくものと考えられます。

五日間ありがとうございました。バックナンバーはインターネットのホームページからみることもできます。

URL <http://manateweb.net/>